

一宮市立市民病院 糖尿病・内分泌内科に
通院中または過去に通院された患者さんまたはご家族の方へ
当科における臨床研究についてお知らせいたします

2026 年 8 月 4 日

一宮市立市民病院 糖尿病・内分泌内科では、「HLA-DRB1 遺伝子型とバセドウ病治療経過との関連に関する後ろ向き観察研究」を実施しています。本研究は、バセドウ病に対する抗甲状腺薬治療の経過が患者さんによって異なることに着目し、既に診療録に記録されている情報および既に測定された HLA-DRB1 遺伝子型データを用いて、治療経過との関連を調べるものです。新たな診察、検査、採血、治療の変更は行いません。

愛知県立大学研究倫理審査委員会および一宮市立市民病院医学系研究倫理審査委員会の審査・承認を得て調査を行っています。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	2026-032
研究課題名	HLA-DRB1 遺伝子型とバセドウ病治療経過との関連に関する後ろ向き観察研究
所属（診療科等）	一宮市立市民病院糖尿病・内分泌内科
研究責任者（職名）	片平 正人（愛知県立大学看護学部・教授）
研究実施期間	2026 年 8 月 4 日～2029 年 12 月 31 日
研究の意義・目的	バセドウ病に対する抗甲状腺薬治療の経過には個人差があり、比較的短期間で治療終了に至る患者さんがいる一方で、長期間にわたり治療継続を要する患者さんも存在します。しかし、このような差が生じる背景については十分に明らかになっていません。本研究では、HLA-DRB1 遺伝子型とバセドウ病の治療経過との関連を検討し、治療経過の個人差に関与する要因を明らかにすることを目的としています。
対象となる患者さん	当院においてバセドウ病と診断され、抗甲状腺薬治療を受けた患者さんのうち、HLA-DRB1 遺伝子型が測定されている方を対象とします。
利用するカルテ情報	年齢、性別、抗甲状腺薬治療開始日、最終受診日、治療終了の有無および内容（休薬、手術、放射性ヨウ素治療）、甲状腺腫大の程度、眼症の有無、喫煙歴、家族歴、HLA-DRB1 遺伝子型等の診療情報を利用します。
研究方法	診療録に記録された既存情報および既に測定された HLA-DRB1 遺伝子データを用いて、抗甲状腺薬治療開始から治療終了までの期間や、治療終了の有無と HLA-DRB1 遺伝子型との関連を統計学的に解析します。治療終了には、抗甲状腺薬の休薬、手術、放射性ヨウ素治療への移行を含めて検討します。本研究のために新たな検査、採血、治療介入を行うことはありません。
問い合わせ先	研究責任者：片平 正人（愛知県立大学看護学部・教授） 電話：052-778-7130（研究室直通） E-mail: katahira@nrs.aichi-pu.ac.jp 研究分担者：恒川 卓（一宮市立市民病院糖尿病・内分泌内科・部長） 電話：0586-71-1911（代表）

利用する情報からは、患者さんを直接特定できる個人情報削除します。

研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

この研究に御自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問合せ先までご連絡下さいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。2029 年 3 月末までに研究者に電話、電子メール、文書、または外来受診時の申し出によりその旨をお伝え下されば、分析の対象から除外させていただきます。